

きそさきの

ギカイ

VOL.100

2019

令和元年8月1日発行

木曽岬町議会だより



第1期分譲地
約12ha



緩衝緑地帯

分譲地

対談シリーズ第3弾 P4~P5
木曽岬町体育協会

造成が進む 木曽岬干拓地

今回から木曽岬町が課題とする事業を
紹介します。

【写真】木曽岬干拓分譲地と緩衝緑地帯

おもな内容

- 議会だより100号のあゆみ … 2~3
- 体育協会との対談(第3弾) … 4~5
- 第2回定例会 … 6~7
- ここが聞きたい【一般質問】 … 8~11
- 行政報告 … 12
- 議会日誌 … 13
- 議員トピックス … 14
- 臨時会概要 … 15~16
- 定例会概要 … 17~19

平成6年12月 平成6年6月

平成5年12月

議会だより100号の歩み

議会だよりは平成5年までは広報
きそさきの紙面に、審議結果のみを記
載していましたが、「開かれた議会」
をめざして、議会だよりを発行するこ
とに。

その間、編集委員会↓特別委員会↓
常任委員会へ移行、試行錯誤を繰り返
し、今では「見やすい読まれる」「自
治情報の主役になる」をテーマに紙面
作りを進めています。

そして今回100号発刊にあたり、
これまでの歩みを掲載致しました。

★創刊号

木曾岬町議会だより 餅つき大会



木曾岬干拓白紙委任、議員数14人
水谷町長

★第3号

中部保育園完成

★第4号

木曾岬干拓地県境合併問題が解決

平成8年12月

平成8年7月

平成8年3月

平成7年7月

平成7年3月

★第5号

輪心乃里完成

★第6号

町長と議長



★第8号

鍋田川工業団地完成

★第9号

北川知事と議会の懇談
干拓地の町裁定内容の説明を受ける

★第10号

高潮堤防建設風景



平成11年5月

平成9年12月

平成9年7月

平成9年2月

★第11号

東部クリーンセンター工事視察

★第12号

勉強しなくちゃ 新人議員勉強会
古村町長改選記事



★第13号

中部国際空港騒音体験調査
一般質問活発化
これより行政報告を記載

★第19号

表紙をリニューアル
発行も以前の3ヶ月から2ヶ月発行へ



子ども議会が町政10周年の記念事業で開催
21世紀を担う子ども目線から鋭い質問も
現在も継続中

平成21年8月 平成21年5月 平成19年5月

平成17年8月

平成14年11月

平成13年8月

★第28号

第2名神高速道路完成
木曾川橋渡り始め式
町議会改選

★第33号

市町村合併協議始まる
一般質問でも議論が活発

★第44号

5月18日より議会広報特別委員会設置
議員定数12人での改選
平野町長所信表明



★第51号

自主運行バス(トマッピーバス)スタート

★第59号

市町村合併問題、見送りを決定

★第60号

5月18日より議会広報常任委員会設置
議員定数8人での改選
加藤町長所信表明

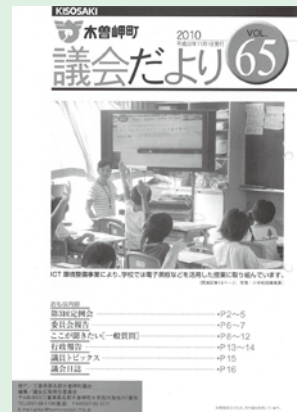
平成24年8月

平成24年5月

平成22年11月

★第65号

小中学校ICT 電子黒板導入



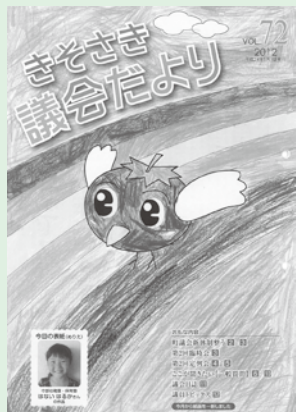
★第71号

表紙・裏表紙をカラー印刷
次代に繋ぐべき鍋田川堤防桜並木が最初



★第72号

表紙・裏表紙は子どもの塗り絵がスタート



幼稚園や保育園児の力作を披露 第92号まで掲載

令和元年8月 令和元年5月 平成30年8月 平成30年2月

平成29年11月 平成29年5月 平成27年5月

★第83号

木曾岬干拓地メガソーラー事業スタート

★第91号

議員政治倫理条例制定

★第93号

表紙・裏表紙、タイトルをリニューアル
緊急指定避難所シリーズスタート



★第94号

木曾岬町複合型施設竣工式

★第96号

対談シリーズスタート
AZクラブさんと最初に対談 現在3団体目

★第99号

政務活動費導入

★第100号

議会だより100号の歩みを発刊

◆町議会の対談シリーズ第3弾!!

各種団体さんから個人まで、町民の皆さんと議会が対談。様々な活動をされている方々を紹介させていただきながら、町議会に対してもご意見もいただいてしまおうという一石二鳥のこの企画。議会広報常任委員会のメンバー4名がお話を伺います。

今回のお相手は「木曽岬町体育協会」さん。体育協会は、スポーツ愛好者と各種スポーツ団体で組織され、「町内におけるあらゆる生涯体育活動を奨励し町民体育の振興を図り、体育を通じての町内文化の振興」を目的に活躍されています。対談メンバーは議員から三輪一雅、伊藤好博、中川和子、服部美二夫が出席、以下議員で表記。体育協会さんからは会長の加藤和巳さん、副会長の道藤弘さん、理事長の岩原浩二さん、以下敬称略で表記。

「皆さんに参加していただきたい。」

議員 まずは木曽岬町体育協会さんは何をされている団体さんか簡単にご紹介を。

加藤 体育協会の活動は、各種スポーツ団体さんの協力を得て、町内の野球大会やボーリング大会など、いろいろな催しをしています。大きなところでは、町民体育祭と輪中駅伝です。他には桑名市と協力してスキー・スノーボード教室もやっています。

議員 「活動の苦労話」をお聞きできますか。私も30年位前に体育協会の経験があるので、大変さが少しは分かるつもりではいるのですが。

加藤 協力をしていただけの方や参加人数が年々減ってきているので、どうしても活動の内容が縮小されるということがあります。新たな取り組みも進めています。参加人数が少しずつ減っていて、例えば運動会で一番盛り上がる地区対抗リレーでも参加チームがかなり減っていたりします。

木曽岬町体育協会

岩原 木曽岬町の人口自体が減ってますしね。子どもさんや若い夫婦が増えていくと、こういうことも少しずつだけど盛り上がってくるのかな、という気はしています。

議員 人口減少の問題は私達も一番の課題と考えているところなのですが、本当に悩ましいです。

加藤 スキー教室は桑名市と一緒にもの以外にも木曽岬町のスキー教室があるんですが、以前は一泊で行っていたんですけど、去年からは日帰りに変えて参加しやすくなったところなんです。

岩原 日帰りにしたこと、小さいお子さんと親御さんに参加していただいたりして、これをきっかけに家族でまたスキーに行ってもらえればいいことですので。確かに一泊で行くことの楽しい部分もありますが、これはこれでいいのかなと。

議員 ニーズに合った取り組みも大切なことかもしれないね。

「無くすのは簡単、しかし続けるのも難しい 苦渋の決断。」

議員 輪中駅伝大会ですが、コースを輪中一周ではなくりました。あの辺りの考え方はどういったものでしょうか。

加藤 安全面を最大限考慮した結果なんです。体育協会としても警察を含めて検討してきたのですが、町内を通行止めにはなかなかできない事情もあったりして、苦渋の決断をしました。



岩原理事長

加藤会長



道藤副会長



対談の様子

議員 議会の立場からすると、木曾岬町の知名度を上げたい。「輪中駅伝」って全国にない言葉だと思っ
 んです。「輪中を一周。なんやそれ？」
 みたいな。勝手な言い分ですけど、
 外部から大勢参加してもらえよう
 うな大会にならんかな、と。その時
 に予算が要るなら私達も頑張りたい、
 みたいなところもあったりして。
加藤 無くすのは簡単ですが、続
 けることも難しい。スタッフの人数
 の確保の問題もあったりして、いろ
 いろ悩み考えた結果です。しかし町を一周する魅力は私達も
 十分承知していて、今後も検討はしていきたいと思ってます。

「正直なところあまりイメージが出来ないかも。」

議員 町議会とか町議会議員に対してどういうイメージを
 お持ちかお聞かせください。

加藤 兄が議員をしていて、多少話はするので大変な仕事
 をしてるんだなとは思っています。

道藤 仕事が町外だと情報がわからないところがあります。
岩原 申し訳ないですが、正直言うと、あまりイメージで
 きないかも。

議員 よくわからないとおっしゃるかたの方が多いですね。
 もっと身近にイメージしてもらえないといけないといけな
 いと実感するところです。

「ぼんちんは読者のぼんちん。」

議員 「議会だより」って読まれたことありますか。

道藤 気になるところだけは見たりします。今だと町のコ
 ミュニティバスのこととか。中央線も源緑線のように鍋田川
 温泉の方を通れば、乗る方も本数も増えるかなとか。

特集・対談!

議会



加藤 僕も干拓の事業など、気になるところがでてい
 見ます。

岩原 正直、私たちは興味の有る所は見るんですけど。例
 えばメガソーラーがどれだけの利益があるとか、工場誘致を
 こういうふうにやってみますとか、せっかく議会だよりとい
 うのを作ってもらってるんですから、興味を引く部分を見させ
 てもらえれば、もっと読む人が増えるのかな。

議員 私達もいつも悩みながら編集作業をしてるのですが、
 タイムリーなことを掲載していくのは一つ大切なことなの
 かもしれません。

岩原 議会と近いところではなくて、町民のみなさんと話
 をしていただいて、興味のあるものを聞き出してもらえれば
 もっと興味を引くんじゃないかなと思いますけど、やりにく
 いですかね。

議員 実はそれも考えてるんです。団体さんとの対談だけ
 ではなく、個人の方で対談をさせていただくような機会を作
 ってご紹介させていただいたり、意見交換をさせていただけ
 たらと思っています。

「スタッフ募集中です！」

加藤 スポーツが好きな方、体育協会ではスタッフを随時
 募集しています。興味のある方は
 ぜひご連絡ください。

議員 ほんとに最後は「人」で
 すよね。議会も同じです。様々
 な理由で地方議員のなり手が減りつ
 つあります。体協さんもボランテ
 ィアでやっていただくのは大変な
 ことだと思いますけど、がんばって
 続けていただきたいと思います。
 対談ありがとうございました。



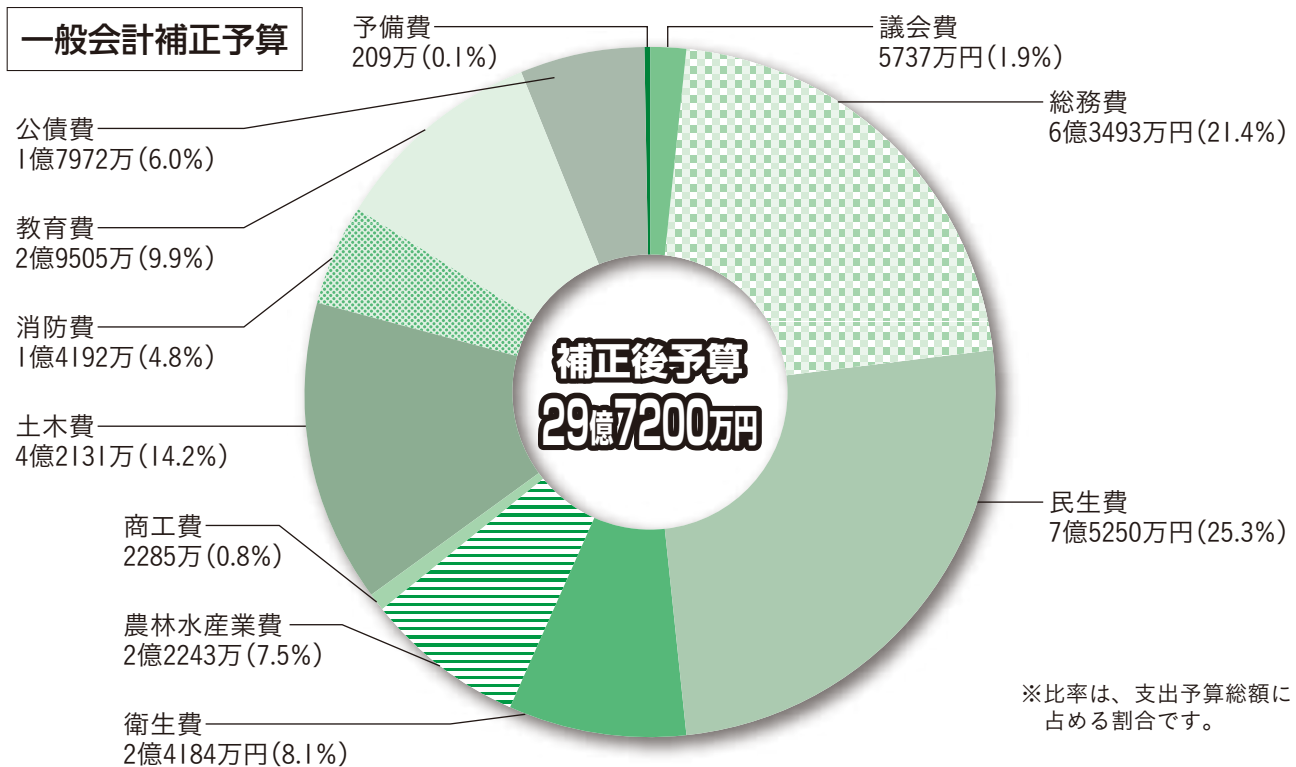
令和元年

第2回

定例会

消費税10%にむけ、関係議案可決!

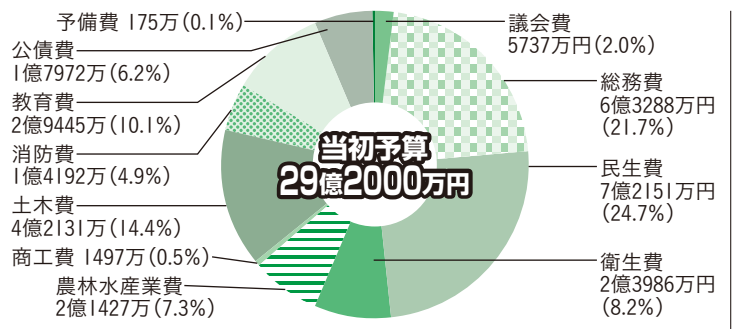
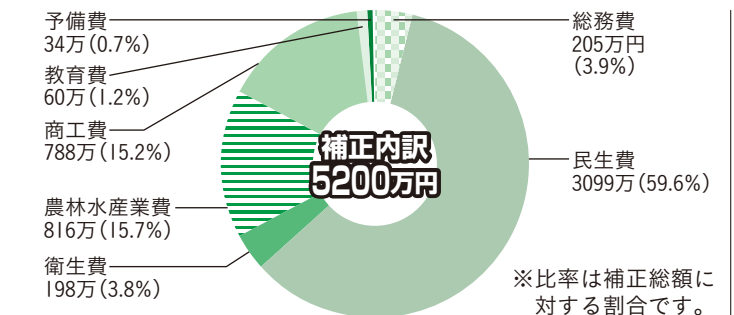
総額 29億7200万円に(一般会計)



今回の補正予算は、町内の小規模の介護老人保健施設への交付金、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業の認可と消費税引き上げに伴い、国の経済対策と示された補助金やプレミアム付商品券発行事業、保育料無償化に伴う予算配置がなされていきました。

また、固定資産評価審査委員に見入の白木悦樹さんの選任を同意。新たに令和6年度より課税される、森林環境税に係る森林環境譲与税の関係予算や条例も提案されました。

定例会では、補正予算案3件、議案3件、同意1件、報告3件を審議しました。詳しくは定例会概要をご覧ください。



★整備すすむ、 木曽岬干拓地

水道事業会計の補正予算では、収益的会計で2億1千6万円、資本的会計で7千244万円、合計2億8千250万円の補正予算が提出され、賛成多数で可決。

今回の主な補正予算は、木曽岬干拓地への送水管の布設工事の負担金、木曽岬干拓地へ導かれた水道水を開発区域まで再送水するためのタンクやポンプを設置するための委託料が計上されております。水道管布設工事は県企業庁が今年から令和3年度までに完成させ、干拓地内での再送水施設は県へ工事を委託します。

これらの水道事業は、今後の木曽岬干拓地への企業誘致の条件には不可欠な施設となります。

負担軽減対策

10月1日より消費税10%になることに伴い、議会としては、国の施策を受入れ、介護保険低所得者保険料軽減の負担分や介護保険特別会計への繰入、地域住民生活等消費喚起対策としての、プレミアム付商品券の発行、保育料の無償化における負担分などを賛成多数で可決。風しん抗体検査や予防接種、農業用ハウスの補強、防風ネット等設置の支援、雁ヶ地・福崎線の道路改良工事が国の「防災・減災・国土強靱化緊急対策事業」の認可を受け起債対象事業として基金繰入金の減額をはじめ、町民の方の負担軽減をしました。

森林環境譲与税基金創設へ

国が令和6年度より森林環境税を施行することに伴い、新たに、県や市町に森林環境譲与税が今年度より、譲与されることに伴う予算及び森林環境譲与税基金条例を賛成多数で可決。

市町に交付される森林環境譲

与税は、森林整備事業（間伐等）、人材育成、担い手確保、林業支援、木材利用の促進や普及啓発に関する費用に充てられ、森林を持たない当町は建物へ地域材の利用促進、普及啓発に積立てるもの。

令和元年度一般会計補正予算

主な歳入

- ・地方譲与税（森林環境譲与税） 24万円
- ・国庫補助金 3043万円
- ・県支出金 566万円
- ・基金繰入金 △12000万円
- ・町債（借入金） 2600万円

主な歳出

- ・プレミアム付商品券（福祉関係） 801万円
- ・プレミアム付商品券（産業関係） 750千円
- ・介護施設整備補助金 1470万円
- ・農業用ハウス強靱化緊急対策補助金 323万円
- ・地籍調査事業委託料 144万円
- ・多面的機能支払事業負担金 324万円

ここが
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、質問議員本人が作成した原稿を議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約（約一〇〇〇文字）されておりませんが、一般質問の全文は木曾岬町議会議録（議会図書室にて公表）でご覧いただけます。

一般質問とは、議員が議案とは関係なく町政全般にわたって町長等の考え方や意見を求めるものです。

3名の議員が質問

ページ数 **9**

・1番議席 鎌田鷹介 議員

- 保育料無償化の課題について
- 成人年齢の引き下げに伴う町の対応について

ページ数 **10**

・8番議席 中川和子 議員

- 国民健康保険について
- 職員体制について

ページ数 **11**

・2番議席 伊藤厚紀 議員

- 第5次総合計画について

Q&A



一般質問



1番議席 鎌田 鷹介 議員

幼児教育・保育無償化への対応は

全園児を対象にした施策等を協議・検討していきたい——町長

質問

2019年10月以降は、消費税率が10%になり、地方消費税率も2.2%に上がり、消費税の増税分を無償化の財源にするこれが決まりましたが、一点目に2020年度より、今年度と同じ園児数と仮定した場合、町の負担はいくらになり、消費税増税により、町への幼児教育に係る歳入増はどの程度の見込みとなるのかお聞きいたします。

答弁

幼児教育・保育無償化における町の負担額は、平成30年度の保育料および、幼稚園授業料の合計金額として約1350万円、0～2歳児の住民税課税世帯保育料は550万円であることから、差し引きにより約800万円が町の負担額と推測されます。

かしながら、幼児教育・保育無償化による地方負担分については、本年10月に予定される消費税率10%への引き上げにより、地方財源を確保することになっており、無償化初年度については臨時交付金として支出される予定で、国の定める利用者負担の水準等の基礎数値に基づき算出した負担相当額が交付されることになっていますが、詳細については総務省において現在検討中であり、具体的な交付額等は示されていない状況です。

質問

二点目に幼児教育・保育無償化では0～2歳児は住民税非課税世帯のみが対象ですが、支援を受けられない0～2歳の子どもに対し、独自に保育料

答弁

支援を受けられない0歳～2歳の子どもに対する独自の補助計画ですが「新しい経済政策パッケージ」において、広く利用している3歳～5歳までの子どもたちを無償化し、0～2歳児についても、当面、住民税非課税世帯を対象として無償化を進めるこ



こども園 夕涼み会

ととし、現在は、住民税非課税世帯の第2子以降が無償化されており、この範囲を全ての子どもに拡大すると示しています。

このことから、今後少子化対策および乳幼児期の成長の観点から、0歳から2歳児保育のさらなる支援を幅広く研究し、幼児教育の在り方について、安定財源の確保と併せて検討することになっております。

町としては、幼児教育・保育の無償化に対する政策および近隣市町の動向等を踏まえ、こども園の全園児を対象とした施策等を協議・検討していきたいと考えております。



※他に「成人年齢の引き下げに伴う町の対応について」も質問しています。



8番議席 中川和子 議員

保険料の値上げが懸念されるが

適切な料率の設定について

町長

質問

県策定の標準保険料率を基に、町の保険料を決定する制度 国民健康保険の県単位化になり2

料について当局の見解を伺いたい。

答弁

今年度の事業費納付金の状況は、医療の

高度化や被保険者の高齢化等により、社会保障関係費が増大している影響は顕著。昨年同様の措置が行われるが、納付金の負担増の市町が21市町で、当町も含まれる。この様なことから保険料率の見直しは避けられないが、前年度繰越金や所得の確定、反映、一般会計からの繰入金も考慮し、適切な保険料率の設定を考えていく。

質問

今までは一般会計から法定外繰入を各年度1,000万円していたが、今の状況ではとても足りないのではないかと。国民健康保険だけ皆さんの大切

答弁

住民課長

県では今どこもやってい

質問

ない状況で、確認、研究しながら今後検討していく。

当町では近隣市町、県内の動向をみてとよく言われるが、第五次総合計画でも今後五年間での子ども増が謳われている。他の市町がやっていない独自の施策をしなければ子どもは増えないのではないかと。また、当町は固定資産税額も入れた四方式で計算しているが、資産割を廃止する自治体も増えている。例えば農家さんが農機具の収納小屋を持っている為に、所得がないのに資産割が掛かる等の問題もでてきている。資産割を今後どう考えるか。

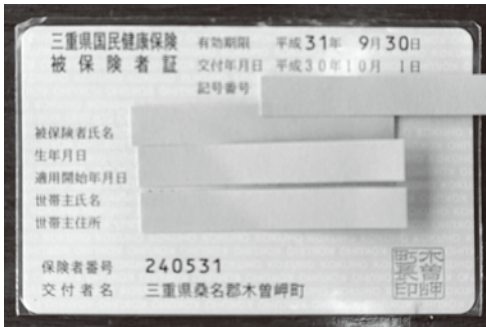
答弁

住民課長

周りの状況は四方式が多多いが、三方式移行も増最後にはその方向に行くかと考えている。

※他に「職員体制について」も質問しています。

新しくなった健康保険証





2番議席 伊藤厚紀 議員

第5次総合計画のこれから

輝きながら安心幸せにくらし
いける町を目指す

町長

質問

第5次総合計画の後期基本計画の策定にあたり前期の目標達成度は？

マネジメント機能の強化、効率の高い施策を重点に進め、行政運営の指針となる計画とは？

また、協働の推進と戦略性の高い計画とは？

答弁

前期の目標達成度は71項目の内、既に達成したものが26項目。また、71項目の内80%以上達成したものが37項目。全71項目中63項目で80%以上の達成率。

協働の推進と戦略性の高い計画については、他自治体・企業・団体と共生し、安心・幸せに暮らしている町を目指すものです。



再質問

子育て支援の推進について

子育て支援満足度が5年後には60%の目標となっているが、その根拠は？

再答弁

福祉健康課長

目標値の主な理由は、子ども園による0歳6ヶ月児からの受け入れや、こども子育て支援センターの設立により、妊娠をした保護者の方達が悩まず過ごせるような体制を整え、また子育てサロンを設置して保護者が孤立しないように支

援体制を強化してまいります。

再質問

道路整備についてこの先5年、どのように進めていくのか？

生活密着道路については？

再答弁

建設課長

今現在、進めているのは、町道鍋田川線・雁ヶ地福崎線・田代小学校線です。次はただ今検討している。計画上は大きな路線計画に上げられた路線からになります。

再質問

町内バスについてルート変更を含め検討会を開く予定は？

また、ルート変更等の計画は？

再答弁

危機管理課長

バスについては公共交通会議にて検討していきます。

再質問

協働による町づくりについて

自治会や一般市民の意見は取り入れてもらえるのか？

再答弁

総務政策課長

一般住民の方にもパブリックコメントを頂いて、その意見を反映して計画書をまとめた。今後5年間にについては、パブコメやアンケートの実施を考えることもあるかと思う。

※他に「目標人口について」、「移住希望者向けの情報発信について」の再質問をしています。



行政報告

(要旨)



加藤 隆 町長

「平成から令和へ」

今年、平成31年は天皇陛下の譲位によって新天皇がご即位されるという202年ぶりの皇位継承に伴い「平成」から「令和」へと改元されました。

「令和」を記念して、全国で婚姻届を提出する新郎新婦が列をなし、当町でも令和元年5月1日、2件の婚姻届がありました。

奉祝行事、祝賀ムードの中、令和元年はスタートしました。

木曾岬町は平成の時代と共に歩み発展を続け、昨年「町制施行30周年」を迎えることができました。

「木曾岬千拓 企業誘致」について

平成の時代、当町では様々な出来事がありました。が、歴史的なことでは懸案

であった木曾岬千拓地の県境・町境が確定し、そこに

新たに「新輪一丁目」「新輪二丁目」が誕生しました。メガソーラー発電事業の誘致に続き、今年2月からは企業誘致に向けた分譲を開始、3月19日には、三重県庁において企業立地協定第1号を締結いたしました。

名古屋市に本社を持つ「株式会社ワード」社で、追加用地も含め15000㎡余りの用地で、機械設備製作や製品組立工場などを予定されております。三重県では、別の企業とも協議中である一方、他の企業からの問い合わせもあることから、ワード社に続く新たな企業立地を目指して、引き続き三重県と連携を図り、企業の誘致活動に全力を傾注し、雇用創出や産業経済の活性化と、財政基盤の安定化を図って参りたいと存

じます。

「広域避難」について

5月26日に開催された「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」について報告させていただきます。

このプロジェクトは「大規模水害における犠牲者ゼロの実現に向けて」をスローガンに、国土交通省と木曾三川下流部の8市町村で構成されているもので、当日は町内外から250名余りの方々にご参加いただきました。

国土交通省木曾川下流河川事務所 村田所長による「水防災意識社会の再構築に向けた取り組み」、気象庁名古屋地方気象台の松村台長による「気象庁の取り組み」の紹介の後、東京大学大学院情報学環特任教授で防災研究の第一人者である片田敏孝先生より講演をいただきました。

今回の講演では、「大規模水害広域避難計画」についての紹介や、浸水想定区域外への広域避難の必要性と、犠牲者ゼロを実現する

ために、住民と行政は何をするべきかを考え、今後は「このプロジェクトで、広域避難に関する情報を広く早く地域住民に伝えるための手法や時期等について検討していく必要がある」との提言を頂きました。

今年には伊勢湾台風から60年を迎えました。

9月1日には木曾岬町をメイン会場に、桑員の2市2町と三重県および消防・警察等の関係機関の参加の下「スパーイ勢湾台風」を想定した、広域避難に関

連した訓練や防災イベントを実施する予定であります。例年以上に充実した訓練や防災イベントを計画しており、防災や命を守るための知識を深め、お互いの防災意識を高め、万が一の時に自助、共助、公助が適格に機能し、迅速に実践できるように、一人でも多くの方に参加していただきたいと存じます。

「見守り」について

5月28日神奈川県川崎市で起きた殺傷事件を受けて、当町では、教育長から学校

長に、児童生徒の安全確保を図るよう、指示がされました。具体的には、児童生徒の下校に合わせ、教職員による見守りの実施、PTAや保護者、地域住民による見守りの強化、児童生徒への防犯教育を徹底するよう要請しております。合わせて桑名警察署には、警察の強化要請のほか、非常時を想定した防犯教室講習会に教職員を参加させていただくよう要請をいたしました。

また、先日開催された「町青少年育成町民会議」においても、子どもたちの安全確保のため、学校と家庭と地域が一体となって、町民全体での見守り活動の呼び掛けがなされております。犯罪のない安全・安心の町づくりと、子どもたちが伸び伸びと健やかに成長できる社会づくりのために、町ぐるみで取り組んでいかねければならないと決意を新たに致しております。

議会日誌

2019 4月

- 25日 ● 桑名・員弁広域連合例月出納検査（副議長）
● 桑名広域清掃組合例月出納検査（議長）

2019 5月

- 8日 ● 桑名人権擁護委員協議会総会（議長）
- 10日 ● 議員懇談会
- 13日 ● 議会運営委員会（運営委員）
● 例月出納検査（監査委員）
- 14日 ● 町村議会議長会理事会（議長）
- 15日 ● 土地開発公社監査（監査委員）
- 17日 ● 議会臨時会
- 20日 ● 桑名・員弁広域連合出納検査（副議長）
● 文化協会総会（議長）
● 桑名・員弁広域清掃事業組合臨時会（議長）
● 土地開発公社役員会（公社理事・監事）
- 22日 ● 木曾岬町商工会総会
（議長・総務建設常任委員長）
- 26日 ● 木曾三川下流部 広域避難プロジェクト
- 28日 ● 全国町村議会 議長・副議長研修会（議長）
- 30日 ● 木曾岬神社春季例祭
● 議会運営委員会（運営委員）
● 青少年育成町民会議総会（議長）

2019 6月

- 2日 ● 町内一斉清掃活動
- 3日 ● 桑名地区生活安全協会総会（議長）
- 4日 ● 令和元年 第2回定例会（開会日）
- 10日 ● 例月出納検査（監査委員）
- 11日 ● 令和元年 第2回定例会（一般質問日）
- 13日 ● 令和元年 第2回定例会（閉会日）
● 議員懇談会
- 17日 ● 中学校プログラミング授業
- 18日 ● 小学校プログラミング授業
- 19日 ● 木曾岬町体育協会と対談
● 社会福祉協議会評議委員会
- 25日 ● 桑名広域清掃組合出納検査（議長）

2019 7月

- 5日 ● 議会広報常任委員会
● 木曾三川公園建設促進下流域会総会（議長）
- 11日 ● 例月出納検査（監査委員）
- 12日 ● 議会広報常任委員会
● 三重県町村議会議長会理事会（議長）

みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会（議会事務局）

TEL 68-6108 FAX 66-3111
E-mail : gikai@town.kisosaki.mie.jp

◆政務活動費について

当町議会では、政務活動費を平成31年4月より月1万円を基礎額として、年間12万円、完全後払い制、全ての明細を公開、利用の明確化、利用を限定して、あくまで議員個人の政務活動にのみ利用できることとして可決。

議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、議会場入口で傍聴の受付をしています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月 5日(木) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 9月 11日(水) 午前9時 教育民生常任委員会
- 9月 13日(金) 午前9時 総務建設常任委員会
- 9月 18日(水) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 9月 20日(金) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合もございますので、お手数ですがホームページまたは議会事務局までお問合わせいただきますようお願いいたします。

議員トピックス



町内を少しでも美しく！

6月2日、恒例となっております「町内一斉清掃活動」に議員も参加しました。

この日は、朝早くから各地区のいたるところで、地域の美化運動に取り組んで頂いている多くの方の姿を見かけました。

議員も役場職員と一緒に、町内でも特に、目の届き難い場所や往来の多い危険な場所を重点的に、道路や水路に落ちている空き瓶、空き缶、粗大ごみなどを集めて清掃美化に努めました。今後とも、地域美化にご協力をお願いします。



清掃活動の様子

小中学校プログラミング授業参観

6月17・18日に小中学校において、地域BWA整備事業の一環として実施された、次世代育成施策プログラミング教育の授業を参観しました。

中学校ではプログラミングの言語を使い、田んぼの水位を測る実験や、小学校ではLEDライトを点けたり消したりするプログラムを作成していました。

子どもたちのキーボードの使い方や言語を使う発想には感心させられました。



小学校授業風景

令和元年 第1回

臨時会概要

5月17日
(1日限り)

議事内容

可決した議案

◎執行部提案

議件名（議案の内容）

承認第1号

専決処分事項の承認を求めることについて（木曾岬町税条例等の一部を改正する条例の制定について）

地方自治法の一部を改正する法律、地方自治施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成31年3月31日に公布され、4月1日から施行されることによる条例の一部改正。

議案第27号

木曾岬町税条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部を改正する法律、地方自治施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成31年3月31日に公布され、6月1日から施行されることによる条例の一部改正です。

議長提出議案（任期満了による選出）

発議第3号

常任委員の選任について（各常任委員会において委員長◎・副委員長○選出）
総務建設常任委員

◎服部美二夫、○伊藤厚紀、鎌田鷹介、加藤真人、三輪一雅、伊藤律雄
教育民生常任委員

◎伊藤好博、○鎌田鷹介、伊藤厚紀、加藤真人、伊藤律雄、中川和子
広報常任委員

◎三輪一雅、○伊藤好博、服部美二夫、中川和子

令和元年度第1回木曾岬町議会臨時会は、5月17日の1日間で開催しました。

この度の臨時会は、執行部より専決処分事項や条例の一部改正の上程、議会からは任期満了に伴う、常任委員及び議会運営委員の選出、議長等辞職に伴う議会人事の発議があり、全議案とも原案のとおりすべて可決となりました。

議件名（議案の内容）

議案第28号

議長の辞職許可について

伊藤好博議長より申し合わせにより辞職願が提出され可決する。

選挙第1号

議長選挙について

投票により伊藤律雄議員が当選。

選挙第2号

副議長選挙について

副議長の伊藤律雄議員が議長となり副議長失職のため、投票により服部美二夫議員が当選。

選挙第3号

桑名広域清掃組合議会議員の選挙について

議員であった、伊藤好博議員辞職により新たに指名推選により伊藤律雄議員が当選。

選挙第4号

桑名・員弁広域連合議会議員の選挙について

議員であった、伊藤律雄議員辞職により新たに指名推選により服部美二夫議員が当選。

■ 選挙第5号

三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について
議員であった、伊藤好博氏辞職により新たに指名推選により伊藤律雄議員が当選。

■ 同意第1号

木曾岬町監査委員の選任につき同意を求めることについて
議会より選出の監査委員伊藤律雄議員の退職により、新たに伊藤好博議員を選任し同意。

◆ 議案質疑

議案に対して次のような質疑がありました。（抜粋）

■ 承認第1号

Q 自動車税の環境性能割の税率特例、当分の間はどのような期間か。

A 上位法令の法律改正の当分の間に基づいて、同様に改正をしている。

Q 消費税10%に伴う町税への影響は。

■ 議案第27号

Q 特定期間は令和元年から2年になるのか、そういう限定された期間を当分の間というのか。

A 消費税が10%になることの軽減対策の一つとして、その特定期間に対して行われたものについて軽減していく。



各議員の賛否

第1回臨時会議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しており、他の議案は全て全会一致で賛成とされています。

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表示しています。

※議長は裁決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。

第1回臨時会審議結果

議案番号	議案名	議員名	鎌田 鷹介	伊藤 厚紀	加藤 眞人	服部 英二夫	三輪 雅一	伊藤 律雄	中川 和子	伊藤 好博	審議結果
承認第1号	専決処分について（木曾岬町税条例等の一部を改正する条例の制定について）		○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議案第27号	木曾岬町税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決

第1回臨時会では、承認第1号及び議案第27号について中川和子議員が反対討論をし、三輪一雅議員が承認第1号及び議案第27号について賛成討論をしました。

なお、紙面の都合で討論の詳細内容の記載を割愛いたしておりますが、反対討論並びに賛成討論の内容は、木曾岬町議会会議録 議会棟 議会図書室(福祉・教育センター2階)でご覧いただけます。

令和元年 第2回

定例会概要

6月4日 (開 会 日)
6月11日 (一般質問日)
6月13日 (閉 会 日)

議事内容

可決した議案

◎執行部提案

議件名(議案の内容)

議案第29号

令和元年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計補正予算(第1号)について
既決予算に歳入歳出それぞれ5200万円を追加し、予算総額を29億7200万円とする補正予算とするため。

議案第30号

令和元年度三重県桑名郡木曽岬町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
既決予算に歳入歳出それぞれ86万円を追加し、予算総額を5億2286万円とする補正予算とするため。

議案第31号

令和元年度三重県桑名郡木曽岬町水道事業会計補正予算(第1号)
収益的収入の収入予定額を2億1006万円追加し、3億8758万円、事業的支出予定額を2億798万円追加し、3億9042万円とする補正予算です。
資本的収入の収入予定額に7244万円増額をし、7465万円、資本的支出予定額に7172万円を増額して8923万円とする補正予算です。

令和元年度第2回木曽岬町議会定例会は、6月4日から13日までの会期10日間で開催しました。

今期の定例会には、令和元年度一般会計補正予算案や条例の制定、改正案など、議案6件、同意1件、報告3件の合計10件の審議をそれぞれ行い、全議案とも原案のとおりすべて可決となりました。

議件名(議案の内容)

議案第32号

木曽岬町森林環境譲与税基金条例の制定について
森林環境譲与税の創設に伴い当該譲与税を基金として積み立て、適正に管理し運用するため、木曽岬町森林環境譲与税基金条例を定める必要があるため。

議案第33号

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令の一部改正に伴い、災害援助金の貸付に係る運用を改善し、被災者支援の充実を図る観点から、利率、償還方法等について所要の改正をしようとすることから、本条例の一部改正を行うものです。

議案第34号

木曽岬町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律による介護保険法の改正に伴い、低所得者の保険料の軽減強化として対象者が拡大されたことから、本条例の一部改正を行うものです。

同意第2号

木曽岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
木曽岬町固定資産評価審査委員会委員白木悦樹氏を引き続き同意をした。

議案質疑

議案に対して次のような質疑がありました。(抜粋)

議案第29号

- Q プレミアム付商品券は他の市町でも使えるか。
A 町内の商業振興もあり町内事業所で考えている。
Q 風しん抗体検査の該当者に比べて予定件数が少ない。
A 他の追加接種と合わせて予算要求をした。

議案第30号

- Q 料率との関係で町の持ち出し分は減るのか。
A 減額された分の町の負担分は増える。

議案第31号

- Q 完成は2年後となり、進出企業との合意形成は。
A 2年後の給水計画を前提に企業誘致を進める。

議案第32号

- Q 基金の処分はどのような目的で使用するか。
A 公共施設での木材利用のところで活用できる。
Q 上流部との交流事業に使えると解釈してよいか。
A そのような取り組みについては今後確認をする。

議案第33号

- Q 適用は4月からで、本来3月議会で上げるべきでは。
A 3月議会と6月議会で提案する議会もある。

報告第1号

- Q 子どもから大人まで利用できる施設ではなく高齢者の利用施設か。
A 社会福祉施設との利用を考えている。



各議員の賛否

第2回定例会議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しており、他の議案は全て全会一致で賛成とされています。

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表示しています。

※議長は裁決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。

第2回定例会審議結果

議案番号	議案名	鎌鷹	田介	伊厚	藤紀	加眞	藤人	服部	三輪	伊藤	藤雄	中和	川子	伊好	藤博	審議結果
議案第29号	令和元年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計補正予算(第1号)について	○		○		○		○		○	—	×		○		原案可決
議案第30号	令和元年度三重県桑名郡木曽岬町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○		○		○		○		○	—	×		○		原案可決
議案第31号	令和元年度三重県桑名郡木曽岬町水道事業会計補正予算(第1号)	○		○		○		○		○	—	×		○		原案可決
議案第32号	木曽岬町森林環境譲与税基金条例の制定について	○		○		○		○		○	—	×		○		原案可決

議案 番号	議案名	議員名									審議 結果		
		鎌 鷹	田 介	伊 厚	藤 紀	加 眞	藤 人	服 部 英二夫	三 輪 雅	伊 藤 雄		中 和	川 子
議案 第34号	木曽岬町介護保険条例の一部を改正 する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	—	×	○			原案 可決

第2回定例会では、議案第33号を除く全ての議案について中川和子議員が反対討論をし、服部英二夫副議長が全議案について賛成討論をしました。

なお、紙面の都合で討論の詳細内容の記載を割愛いたしておりますが、反対討論並びに賛成討論の内容は、木曽岬町議会会議録 議会棟 議会図書室(福祉・教育センター2階)でご覧いただけます。

傍聴者の声

定例会を傍聴していただきありがとうございました。

毎回、定例会では傍聴アンケートをお願いしており、いろいろなご意見をいただいております。

今後の議会運営に活かしてまいりますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

議会を傍聴しての感想

Q 常任委員会を一つにしたらどうか。

A 貴重なご意見として今後の議会改革の参考にさせていただきます。

議会に期待する事

Q 議会会議録をホームページで公開してほしい。

A 会議録はホームページで公開する予定です。

Q 一般質問(内容)をホームページで公開してほしい。

A 一般質問が終わるまでは項目のみとさせていただきます。

編集後記

議会だより100号を記念し、その歩みを集めました。

令和元年、ようやく動き始める木曽岬干拓地造成分譲地(表紙)インフラ整備予算、県企業庁送水管の布設工事(裏表紙)を令和3年までの完成、干拓までの再送水施設は、県へ工事委託予定とのこと。今後の企業誘致の条件には不可欠な施設となります。

企業誘致の進展を願うところです。

議会広報常任委員会一同



インフラ整備の進む木曽岬干拓地



国道23号から新緑風橋までの航空写真

木曽岬干拓地までの送水管計画図(案)

